



**AMAZONE**

**D9**

**AD**



# 言わずと知れた名品

D9とAD、伝統的なドリルシーダー



D9とADは市場のどのドリルシーダーよりも品質、信頼性に妥協しないドリルシーダーです。作業幅2.5m~4.0mの直装型シードドリルD9、作業幅3mの搭載型シードドリルAD、どちらもプラウ耕後の播種でも不耕起播種でも正確に働きます。最高の播種床と正確な播種は、我々の挑戦と試行によって生まれたD9とADの特徴です。



## 信頼性、挑戦と試行、そして成功

---

「リフトパック」システム クイックリンク脱着システム

---

シードホッパー

---

計量システム

---

作業

---

ローテックコントロールシングルディスクコールター

---

けん引タインハロー

---

追従ハロー

---

D9直装型シードドリル

---

D9直装型ドリルオプション

---

AD搭載型シードドリル

---

技術仕様

---

---

# 多彩な選択肢

## 2種類のマウントタイプ 洗練されて、シンプル、そして柔軟

D9直装型シードドリルの「リフトパック」システムと、AD搭載型シードドリルのクイックリンク脱着システムにより、工具レスで簡単かつ素早く、アマゾーネの耕耘作業機と脱着できます。そのため、ドリルシー

ダーと耕耘作業機を自由に組み合わせて、多様な土壌や用途に対応することができます。

KEパワーハロー

ローラー

- ✓ SW ケージローラー
- ✓ PW パッカーローラー
- ✓ TRW トラペジウムローラー
- ✓ KW ウェッジリングローラー
- ✓ KWM マトリックスウェッジリングローラー



D9 直装型シードドリル  
AD 搭載型シードドリル

リフトパックシステムによりKE 3001 SuperにD9 3000シードドリルを組み合わせた状態





D9直装型シードドリルは単独での使用にも最適です！

## D9直装型シードドリルのための 「リフトバック」システム

アマゾーネリフトバックシステムにより、D9を耕耘作業機と組み合わせて作業することができます。これにより、耕耘と播種を1工程で完了できます。工具を使わずにいくつかのクランプで脱着できます。

## D9オプション品

オプションパーツで耕耘作業機にしっかりと固定することもできます。

## AD搭載型シードドリルのための クイックリンク脱着システム

ADと耕耘作業機の脱着は、スマートなクイックリンク脱着システムにより、わずか数分で簡単に行うことができます。そのため、耕耘作業機を単独で使いたいときにも完璧に対応します。



クイックリンク脱着システムのアクセスフリーな3つの脱着ポイントにより、工具を使わずに安全かつ素早く脱着することができます。

# 確立された技術力

頼もしい強靱性、軽量かつ高い静穏性!



✔ 簡単にアクセスできるシードホッパー



## シードホッパー

アマゾーネのドリルシーダーの大きなホッパーの強靱な蓋には、ホコリや雨をシャットアウトするゴムシールがついています。蓋は持ち手とガスシリンダーにより、きわめて簡単に開閉することができます。シードホッパーは拡張可能で、作業幅3m仕様であれば、450Lから1000Lまで拡張することができます。

## ホッパー仕切り板

オプションとして、勾配のある地形でも種子の偏りを防止できるホッパー仕切り板もご利用いただけます。

## 種子の補充も楽々

折りたたみハシゴ付きの幅広い踏み台で、楽に種子の補充を行うことができます。蓋が大きく開くため、大きな袋から補充するだけでなく、フロントローダーや小さな袋から補充する場合でも、素早く簡単に補充を済ませることができます。

## 残量計

標準装備の残量計により、作業中でもトラクターのキャビン内からホッパーの残りの種子量を確認できます。

## アブラナ種子対応キット

オプションの素早く簡単に装着できるアブラナ種子対応キットを装着することで、ホッパー内の種子残りを削減します。



ホッパー仕切り板



アブラナ種子対応キット

# バリオコントロール

黄金にも等しいお客様の種子を正確に計量します！



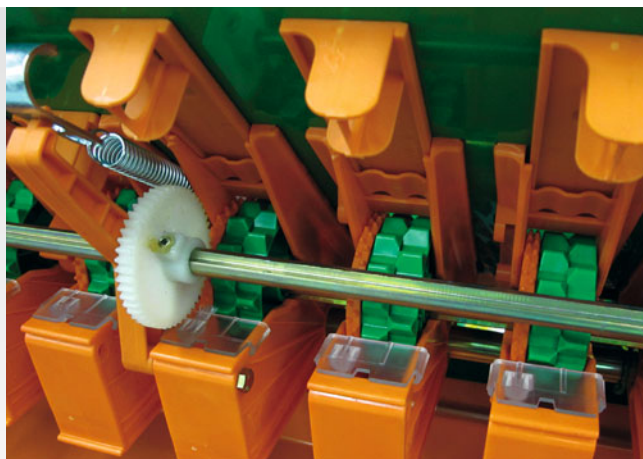
## 高精度計量

計量は正確な播種量と種子の分布を実現するために最適化されています。これは、新しくデザインされたボトムフラップと計量部に組み込まれた直径80mmの種子繰り出し歯車により、実現されています。

大きな種子繰り出し歯車により、長きにわたって正確な軽量のままでお使いいただけます。種子繰り出し歯車の均一な駆動は無段式バリオギアボックスにより実現されています。

### DLG 試験報告 5724F

| 試験基準                      | 結果 | 評価 |
|---------------------------|----|----|
| 播種量の均一性                   | 優  | ++ |
| 種子の分布                     | 優  | ++ |
| 評価範囲: ++/+/0/-/— (0 = 普通) |    |    |



## バリオギアボックス- 無段調整

スムーズに動く無段変速バリオギアボックスによって、ヘクタール当たり400kgから1.5kgまで自由に、そして正確に播種量を調整できます。言うまでもなく、ナタネ、牧草、穀物、豆類など、どんな種類の種子であっても同じだけ正確に播種することができます。バリオギアボックスはメンテナンスフリーで取り扱いも簡単です。ナタネを播くときは、リンチピンを引き抜くことでアジテーターを無効にすることができます。播種量のキャリブレーションも簡単に準備することができます。

## 種子繰り出し歯車

細かい種子用の歯車（オレンジ）と普通の種子用の歯車（緑）を組み合わせることで、歯車を手作業で交換することなく1.5kg/haから400kg/haまでの調整を可能にしています。歯車の変更は数個のピンで簡単に済ませられます。



内部



種子繰り出し歯車



# 正確な計量! シンプルで使いやすい



## ❗“便利な選択肢”

(ドリルシーダー組み合わせの比較  
“Landwirt” 誌掲載・発行 18/2014)



アマログ+オペレーター端末

## アマログ+ 頼れる相棒

アマログ+インキャブターミナル端末は、アマゾーネドリルシーダーをコントロールするために特別に作られています。電源は3ピンコネクタからとることができます。

アマログ+により、トラムライン周期と発芽前マーカを制御することができます。トラムラインはセンサーにより制御されており、周期は簡単に変更することができます。ディスプレイには、トラックマーカの位置、トラムラインの状態、播種した面積、ホッパー内の種子の残量が表示されます。

## アマログ+の機能

- ✔ トラムラインの電子制御
- ✔ トラムライン周期とトラックマーカ位置の表示
- ✔ トラムラインのカウント
- ✔ 種子残量の表示
- ✔ 播種面積の表示



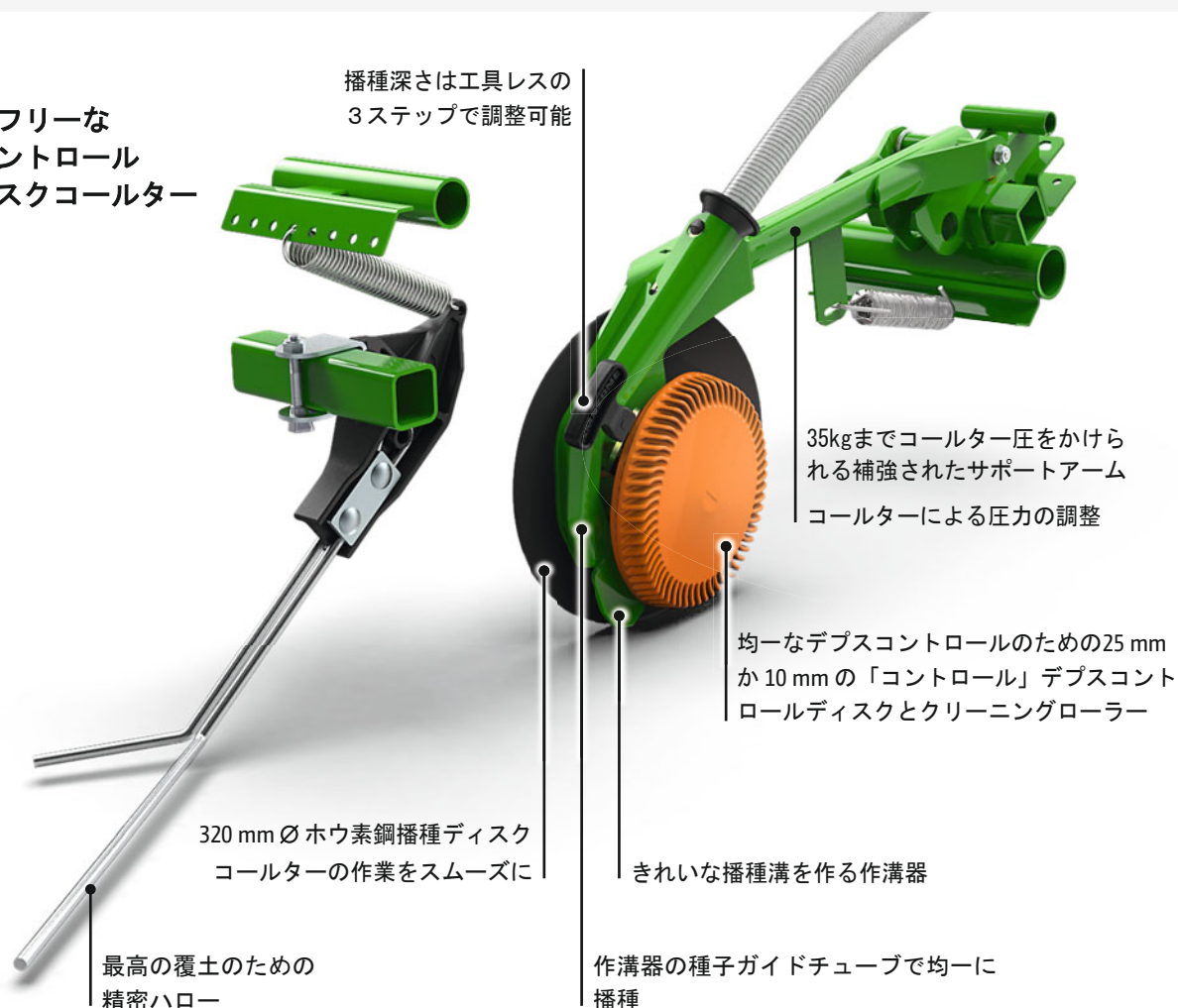
- ✔ バケツとスケールがセットになった標準のキャリブレーションキットはコンパクトで持ち運び簡単です。

# ローテックコントロール コールター

汎用性の高いシングルディスクコールター

ローテックコールターシステムは1,500,000回以上の試験を行っています！

メンテナンスフリーな  
ローテックコントロール  
シングルディスクコールター

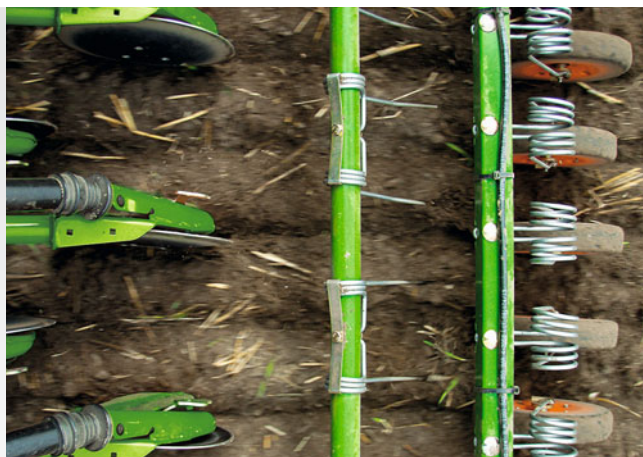


## 普段の作業を快適かつ正確に

ローテックコントロールコールターはメンテナンスフリーで摩耗や破損無く優れた働きをします。藁くずや残さが多かったとしても、作業が邪魔されることはありません。播種ディスクと作溝器が完璧な播種溝を生み出し、播種深さを正確にします。弾力のあるポリウレタンクリーニングディスクも、播種溝の成型を助け、播種深さを正確にし、播種ディスクに土が詰まるのを防ぎます。

## 品質と信頼性:

- ① ハイグレードホウ素鋼を使用したコールターディスクで長寿命
- ② 耐摩耗性とセルフクリーニングを持つコントロール10深さ制御ディスクとコントロール25深さ制御ローラーで正確な播種深さ
- ③ コールターガイドと再結合を分離してコールターの動きをスムーズにし、どんな条件にも対応



前列と後列の間が大きいことで、ワラくずの多い環境であっても詰まることなく播種作業を行えます。

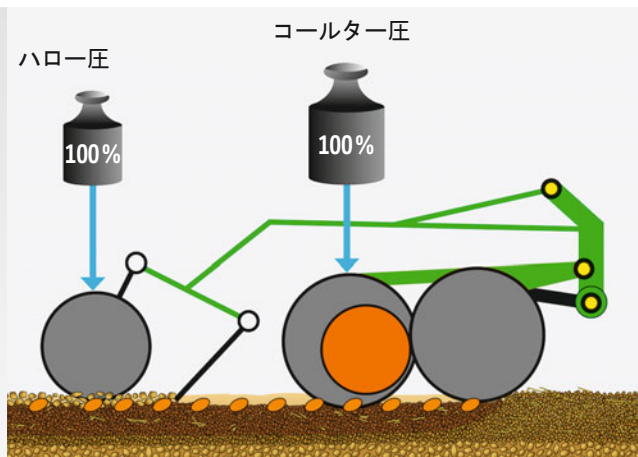
## 播種深さ調整

ローテックコントロールシングルディスクコールドターの無敵の特徴の一つは、コールドターガイドランスと再統合システムがつながっていないことです。これにより、石に当たった時にコールドターは1回だけ上昇します。さらに、コールドター圧とローラー圧はお互い独立して調整することができます。ローテックコントロールシングルディスクコールドターの正確な深度制御は、10mm幅のコントロール10深度制御ローラー、もしくは25mm幅のコントロール25深度制御ローラーにより実現されています。

播種深さは、コールドター1個につき3つのステップで道具を使わずに変更可能です。そして、無段階調整できるコールドター圧により、より細かい調整がなされます。

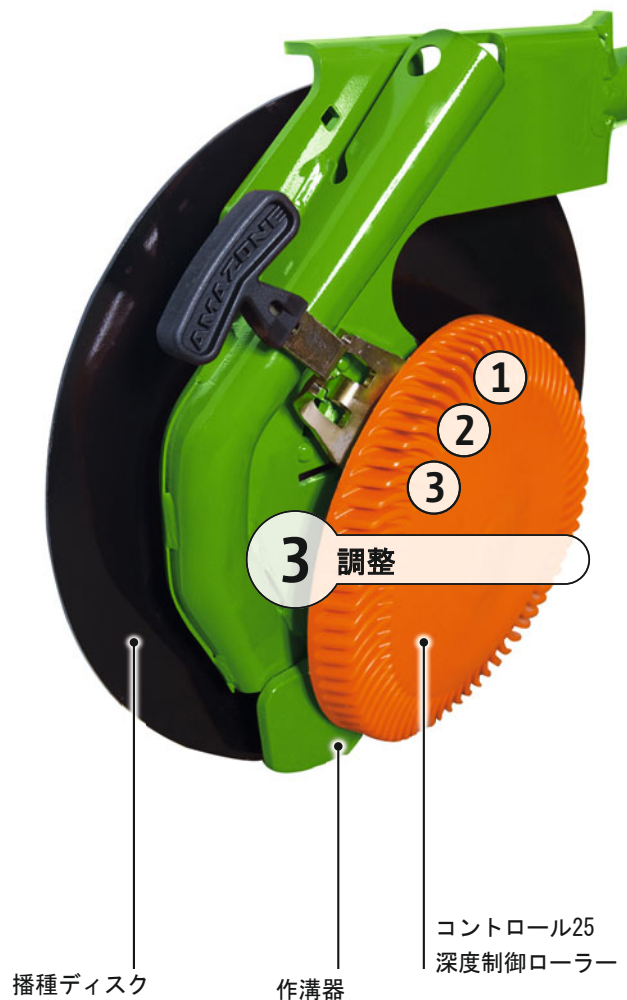


もっと深く播種したいときのために、深度制御ディスクを簡単に取り外すことができます。



## コールドター圧調整

コールドター圧は機械式でも油圧式でも無段階で調整可能であり、播種深さを簡単に調整可能なため、土壌条件に迅速に対応することができます。ローテックコントロールコールドターは最大35kgまでコールドター圧をかけることができます。



# 追従ハロー



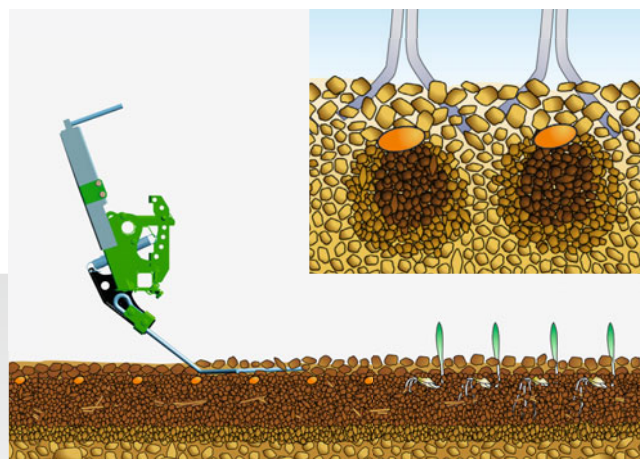
## 精密ハロー

精密ハローは播種溝を埋めて地面を均す役割を持ちます。ワラくずの多い条件であっても期待通りの働きを見せてくれます。個別に装着されたハローエレメントにより、地面の起伏にも完璧に追従するので、藁の多い圃場でも藁のない圃場でも均平な覆土を実現します。

ハロー圧はハローの真ん中あたりにあるピンで機械的に調整できます。油圧式のハロー圧調整は特別で、最大圧と最小圧はピンにより決められています。したがって、走行中は一つのトラクタースプールバルブでハローとコールターの圧力を同時に調整し、様々な土壌に対応できます。

## 出芽前マーカ

播種後には、播種した跡が見えるようになります。そのため、出芽前でもどこに播いたかを確認することができます。



精密ハロー



機械式ハロー圧調整

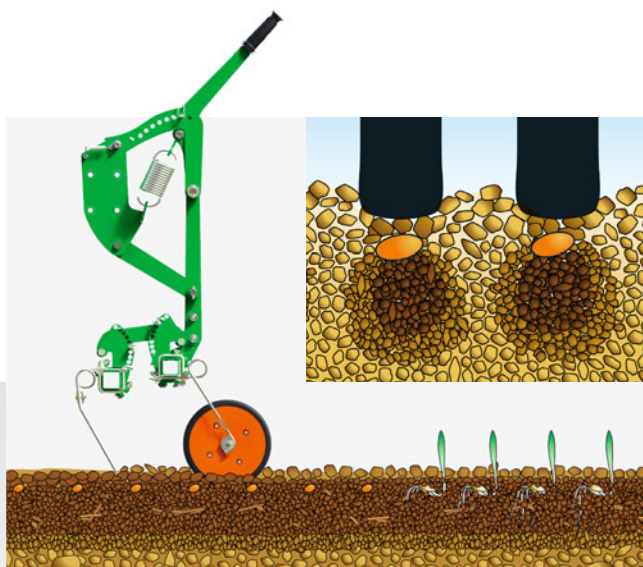
ローラーハロー

## ローラーハロー

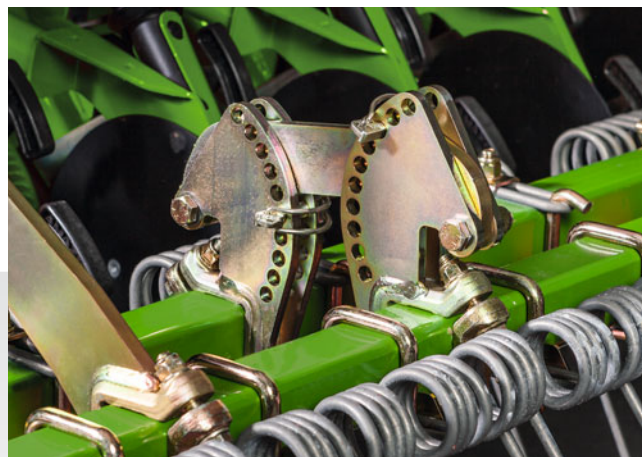
ローラーハローも同様に播種溝を鎮圧し、発芽のための環境を整えます。こちらはナタネや春作の穀物を乾いた軽い土壤に播種するときにお勧めです。土壤の表面が波状になりますが、これにより浸食を防ぐことができます。特筆すべきメリットは、ローラー圧をコールドター圧とは完全に別に調整可能な点です。

## ハロー圧調整

ローラーハローは過負荷保護装置とともにアジャスターで調整可能です。ローラーハローを非常に柔軟に調整できるほか、ローラー圧を完全にゼロにすることも可能です。したがって、例えば秋の終わりのような湿った土壤では、ローラーを完全に上げた状態で作業することもできます。



ローラーハロー



# D9 直装型シードドリル

無敵の成功例 一流のドリルシーダー

作業幅 2.5 m, 3 m,  
3.5 m, 4 m



## 一目瞭然の長所：

- ⊕ 軽くてコンパクト、単独でも使えます。
- ⊕ 油圧式、機械式どちらも使える無段階コールドター調整
- ⊕ コントロール10深度調整ディスク、コントロール25深度調整ディスクのセルフクリーニングによるローテックコントロールシングルディスクコールドターの完璧な深度調整
- ⊕ 信頼できる作溝器によるきれいな播種溝
- ⊕ 精密ハローでしっかり覆土ー不耕起播種でもばっちり！
- ⊕ 安全な踏み台でシードホッパーに楽にアクセス
- ⊕ 蓋によりホッパーをしっかりと密閉



## 信頼できるマウンテッドシードドリル

D9直装型シードドリルは単独で使うことも、耕耘作業機と組み合わせて使うこともできます。そのため、プラウ耕後の圃場での播種や、不耕起播種にも適します。作業幅2.5mから4mのD9直装型シードドリルは、小から中規模の圃場にピッタリです。

### 利点

- ① 単独での使用が可能
- ② パワーハローKEと組み合わせて作業可能
- ③ 他社製耕耘作業機にも組み合わせ可能

## D9スペシャル

D9スペシャルは作業幅2.5mと3mが選べいただけます。このお得なシードドリルは、アマゾーネ品質基準に基づいて設計された魅力的なエントリーモデルです。つまり、種子の計量にも播種深度の制御にも一切の妥協はありません。ホッパーのサイズは、作業幅3mのモデルで450Lから850Lで選べいただけます。

## D9 スーパー

D9スーパーは作業幅3m、3.5m、4mから選べいただけます。KRトレイルドキャリアーを組み合わせれば、9mや12mの作業幅にすることも可能です。ホッパーのサイズは、作業幅3mのモデルでは600Lから1,000Lまでで選べいただけます。コールドター圧調整は油圧式が標準装備です。



D9 3000 スーパー

作業幅3mローテックコントロールシングルディスクコー  
ルターモデル

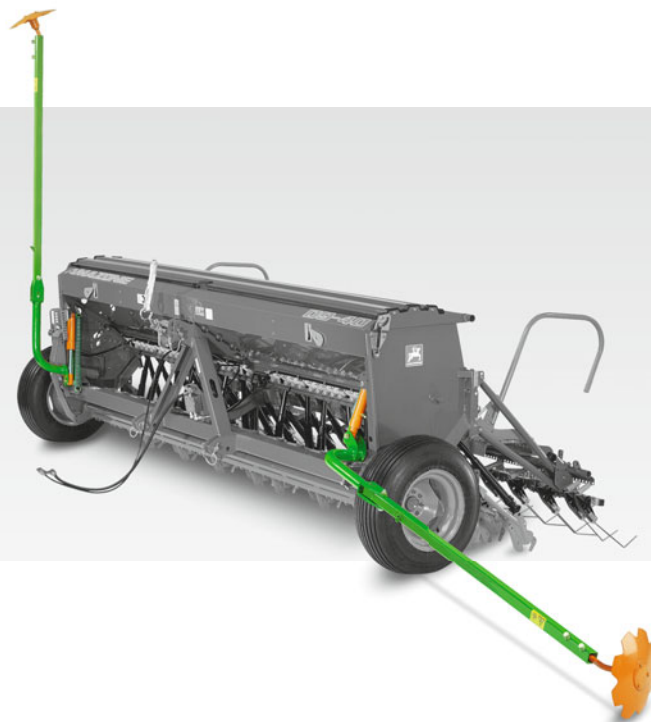


D9 4000 スーパー

作業幅4mローテックコントロールシングルディスクコー  
ルターモデル

# 適応性と信頼性





D9 3000 直装型シードドリルとサフォークコールター

## 単独での使用

耕耘作業機と組み合わせないで使うD9直装型シードドリルは軽く、コンパクトです。プラウ耕後の播種に適しています。

### (標準装備)

## D9用トラックマーカ―

D9直装型シードドリルを単独で使うことが多い方には、トラックマーカ―がおすすめです。トラックマーカ―が切り替えられると、希望の周期でトラムラインを作るためにトラムラインシステムが進行します。D9スーパー用トラックマーカ―は、シェアボルトによって破損から守られます。

### (オプション)

## ドリルシーダータイヤ跡消しキット

タイヤ跡消しキットにより、ドリルシーダーのタイヤの跡をほぐすことができます。コンディションに合わせて播種深度等を調整することができます。石避けシステムにより、石に当たった場合は少し動きを変え、石の影響を軽減します。

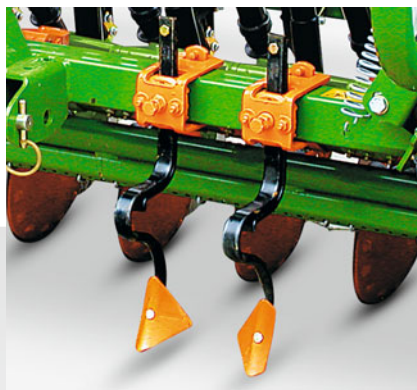
### (標準装備)

## トラクタータイヤ跡消しキット

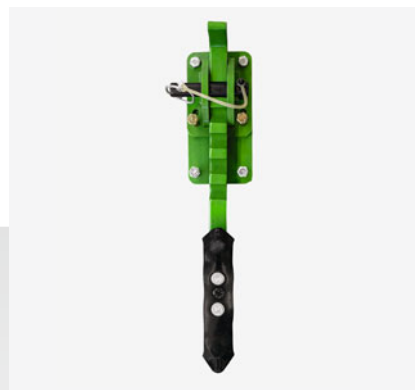
D9直装型シードドリルを整地された圃場で播種深度を浅めに使用する場合、トラクタータイヤ跡消しキットが便利です。この部品でトラクターのタイヤのわだちをほぐします。タイヤ跡消しキットは垂直及び水平に設置できます。石の多い土壌でも使用できるタイプもあります。



タイヤ跡消しキット



トラクタータイヤ跡消しキット



石の多い圃場向けトラクタータイヤ跡消しキット

# AD 搭載型シードドリル

強力

作業幅3m



ローテックコントロール  
シングルディスクコルター

## 一目瞭然の長所:

- ⊕ コンパクトで軽量
- ⊕ 油圧式無段階調整コルター圧調整
- ⊕ セルフクリーニングコントロール10深度調整ディスクまたはコントロール25深度調整ディスクを使ったローテックコントロールシングルディスクコルターの完璧な深度調整
- ⊕ 信頼できる作溝器によるきれいな播種溝
- ⊕ 精密ハローによるしっかりした覆土 — 不耕起播種でもばっちり
- ⊕ 安全な踏み台でシードホッパーに楽にアクセス
- ⊕ 蓋によりホッパーをしっかりと密閉



## AD 搭載型シードドリル

作業幅3mのADスーパーハロー搭載型シードドリルは、中規模から大規模での作業にピッタリです。KEまたはKGと組み合わせることで、プラウ耕の後でも不耕起播種のときでも理想的な作業を行えます。

## ADをハローに搭載

AD搭載型シードドリルは様々な耕耘作業機と組み合わせることができ、コンパクトなままで最上の組み合わせで作業を行うことができます。重心の配置が大きく改善されたことにより、作業機の上昇に必要な力も小さくなりました。

### 利点

- ① 上昇に必要な力が少ない
- ② KEやKGと合わせて使用可能
- ③ 他メーカー耕耘作業機との組み合わせも可能



# アマゾーネ 伝統的なドリルシーダー

70年以上の経験と技術からなる強み



# 技術仕様:

## D9直装型シードドリルとAD搭載型シードドリル

| モデル                   | D9<br>2500<br>スペシャル | D9<br>3000<br>スペシャル | D9<br>3000<br>スーパー | D9<br>3500<br>スーパー | D9<br>4000<br>スーパー | AD<br>3000<br>スーパー |
|-----------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 作業幅 <sup>2</sup> (m)  | 2.50                | 3.00                | 3.00               | 3.50               | 4.00               | 3.00               |
| ローテックコントロール: 条数       | 15/17/21            | 18/21/25            | 18/21/25           | 21/25/29           | 24/29/33           | 24                 |
| ローテックコントロール: 条間 (cm)  | 12.0/14.7/<br>16.6  | 12.0/14.3/<br>16.6  | 12.0/14.3/<br>16.6 | 12.0/14.0/<br>16.6 | 12.0/13.8/<br>16.6 | 12.5               |
| ホッパー容量 (拡張<br>無し) (l) | 360                 | 450                 | 600                | 720                | 830                | 600                |
| 最大ホッパー容量<br>(l)       | —                   | 850                 | 1,000              | 1,200              | 1,380              | 1,000              |
| 重量 <sup>1</sup> (kg)  | 710                 | 760                 | 850                | 1,010              | 1,180              | 747                |

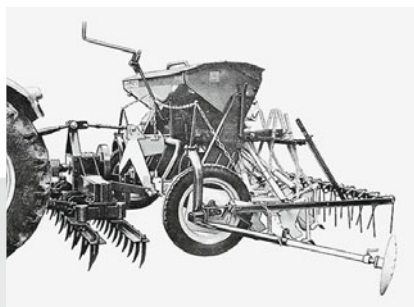
<sup>1</sup>ドリルシーダー本体、コールドター、精密ハロー、トラックマーカード込みの重量

<sup>2</sup>実際の作業幅は最大3.2cm誤差がある可能性があります。

イラスト、内容、技術仕様は機械の仕様、国ごとの道路交通法等によって異なる場合があります。



**1948**  
最初のシードドリル  
: D1シードドリル



**1967**  
最初の現代的なハロー直装シードドリル: RE-D4



**2016**  
最新のコンビネーションシードドリル: Cataya



# AMAZONE



イラスト、内容、技術仕様は機械の仕様、国ごとの道路交通法等によって異なる場合があります。



**AMAZONEN-WERKE H. Dreyer GmbH & Co. KG**  
P. O. Box 51 · 49202 Hasbergen-Gaste/Germany  
Phone +49 (0)5405 501-0 · Fax +49 (0)5405 501-193